



## SUMOTO で体験! 世界の食文化



コーヒーを1杯ください  
Un caffè per favore

はい すぐにご用意します  
Si subito, va bene



イタリアの食文化  
パスタはフォークだけで食べる



ありがとう  
シエシエ  
谢谢



炸薯丸  
大根団子は形が丸いでしょう  
丸い形には 一家団欒や幸せで円満という意味があります

▶動画発信事業

## 新規会員募集!



△オンライン外国語講座



△ハワイ郡姉妹都市バーチャルコンサート



△外国文化理解事業

### 目次

P2	会長あいさつ
P3	SIA VOL.015発行記念
P4~5	研修部会事業報告

P6	活動紹介
P7	姉妹都市紹介
P8	会員募集、年間行事報告

## 会長あいさつ



洲本市国際交流協会  
会長 才花 毅

洲本市国際交流協会会長の才花毅でございます。日頃は当協会の運営にご理解、ご協力いただき心より御礼申し上げます。

本誌をご覧いただいている皆様もこの年はコロナ禍で仕事にプライベートに大変ご苦労されている状況にあると存じます。当協会も例外ではなく、今年度も年度当初は事業計画を立てて今年こそはと意気込んでスタートしましたが、コロナの蔓延で昨年度に引き続き、思うような活動はできておりません。しかしながら、メンバーが工夫を凝らし、コロナ禍だからこそできる事業を考え行っています。

研修部会では、オンライン外国語講座、外国文化理解事業、動画発信事業と、事前の会議も含めWEBをフルに活用してきました。講師等とも意見を出し合い、これまでと変わらない、それ以上の効果を生むことができるよう、事前に協会内でシュミレーションをしたうえで事業展開を行っています。その結果、これまで参加いただけなかった方にも参加いただけることにもつながりました。特に動画発信事業においては、淡路島テレビジョンさんにご協力いただき、2年続けて“国際交流”をテーマに番組を制作し、情報発信させていただいております。多くの方に異文化に触れていただく機会になったのではないかと考えています。反省点もある中で、対面でする良さも合わせながら今後につなげて参ります。

海外交流部会・企画部会では海外姉妹都市（ヴァンワート市・ハワイ郡）との交流に尽力いただいております。20年以上交流を続けてきて、人と人とのつながりの大切さを今だからこそ感じています。この2年間洲本市の青少年の皆様姉妹都市での貴重な経験をする機会を提供できていないのは協会として心苦しいところではありますが、我々メンバーも手をこまねいているだけではありません。20年、25年と交流を続けてきたことを振り返りつつ、記念誌や動画でメッセージを送り合い、また、洲本市とも連携し、WEBを通じて姉妹都市交流を継続しております。これまで培ってきた交流の絆をこれまでに以上に強固なものとし、いざ相互訪問が再開した時にはこの間チャンスを失った方々にも何らかの形でこれからの交流に携わっていただき、姉妹都市との関係を今後永遠に繋がっていくものにしたいと考えています。

会員交流部会では、例年様々な企画を通じて会員同士の交流を図ってきましたが、対面でもこそ交流が深まる事業内容であることから、目立った活動はできておりません。我々協会は130名ほどの個人会員と30社ほどの賛助会員とで構成されていますが、これまでは会員全員が思う存分活躍していただける運営になっておりませんでした。そこで、この機会にみなさんの顔が近くなり、一人ひとりの力を発揮いただける協会になろうと取り組み始めています。コロナ禍で会員増強というのも難しいかと思いますが、新たなメンバーも含めて会員一人ひとりが洲本の国際交流という分野でお力を発揮いただける協会を目指して取り組んで参ります。

最後に、コロナ禍の今だからこそ皆様のお力をお貸しいただき、洲本の未来へとつなげていけるよう、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

祝

# SIA Vol.015 発行

洲本市国際交流協会会報誌『SIA』の第15号目を発行することができました。平成20年7月に発行を開始して以来、初年度には2回、以降は毎年度末に企画部会が中心となって発行を続けています。この機会に、その表紙で思い出を振り返ってみましょう。

表紙一枚を見るだけでも、その年の思い出が蘇ってくるような気がして仕方ありません。洲本市国際交流協会のメイン事業として、米国オハイオ州ヴァンワート市と同国ハワイ州ハワイ郡との両姉妹都市間での高校生のホームステイ派遣と受け入れを行ってきました。『SIA』の表紙には高校生の笑顔と思い出がたくさん詰まっています。

協会ではホームステイを含めて色々な活動を行っていますが、全てが対面での活動、交流=対面が当たり前でした。ここ数年のコロナ禍においてその常識は覆されましたが、次号こそ、皆で笑顔いっぱい・笑顔あふれる紙面を飾れますように。

企画部会 部会長 三宅 一弘

Start!



To be continued...



## 動画発信事業

昨年度の「DISCOVER SUMOTO ～洲本のイトコ再発見～」に引き続き、今年度も淡路島テレビジョンと協力し、動画を作成し、YouTubeとケーブルテレビで発信しています。今回は「**SUMOTO**

**で体験!世界の食文化**」と題し、在住外国人の方々が経営されている飲食店に赴き、お話を聞いたり、実際に各国のグルメをいただきながら、食に関する異文化を市民の皆様向けに発信しています。また、動画の中には飲食店で使える簡単な会話を紹介する外国語講座も盛り込みました。全3回を予定していますが、原稿を書いている現時点では、これから第3回の撮影というところです。

1回目はDA DARIO Osteria Wine-Bar Pizzeriaにてイタリアのテーブルマナーやイタリア国内での食文化の違いなどについて教えていただきました。私を含め協会の皆様も知らなかったイタリア食文化を知る機会になったのではないかと思います。2回目は中華居酒屋<sup>レストラン</sup>ちゃんにて中国のお正月料理について教えていただきました。豪華な魚料理や海老、餃子などの食欲をそそる香りに、一足早い中国のお正月を感じる楽しい撮影でした。

長引く緊急事態宣言により、当初予定していたスケジュールでの撮影ができず、歯がゆい思いもありながらでしたが、出演者をはじめ多くの皆さまの協力もあり、何とか事業実施ができたことに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

「SUMOTOで体験!世界の食文化」のケーブルテレビやYouTubeでの発信により、市民の皆様がより身近に外国の文化を感じていただけることを心より願っています。



SIA Channel  
(You Tube)



## 外国文化理解事業

11月14日(日)コモード56商店街レインボープラザにて、「ようこそ!ロシアのせかいへ」と銘打ち、「洲本市・ロシア連邦クロンシュタット区姉妹都市20周年」を冠し、外国文化理解事業を実施しました。ロシア文化

を身近に感じていただくと共に、市民の皆様姉妹都市20周年をPRすることを目的に、在日本ロシア文化支援センター“ローディナ”のロシア人の方々にお越しいただき、ステージ上ではロシア語の歌やダンスと、人形劇を披露いただきました。また、ワークショップではロシアの遊びやダンスを教えていただき、塗り絵コーナーでは、伝統的なおもちゃを紹介いただきました。さらに、民族衣装の試着と撮影の場も用意いただきました。

歌は日本でも1980年代にヒットしたロシア生まれの『百万本のバラ』や、反対に1960年代に日本で生まれ、ロシアでヒットした『恋のバカンス』が日本語とロシア語の両方で披露されました。また、ロシアで有名な曲もいくつか披露いただき、来場者が揃って手拍子で応えるなど、大盛り上がりでした。

緊急事態宣言も明け、街中でも様々なイベントが行われている中での実施ということもあって、非常に多くの来場者が訪れる姿を見て、これまで我慢を強いられてきた市民の皆様を少しでも元気づけられる事業になったのではないかと感慨深く感じております。

来年度もできるだけ直接外国文化に触れ合えるようなイベントを実施することで、市民の皆様喜んでいただけるよう、何より子どもたちの学びになる機会を創出していけるよう心掛けて参ります。



結びに今年度当協会の理事として初めて多くの事業を受け持たせていただきましたが、多くの方々の協力のおかげで無事に終えることができました。協会の皆様はもちろんのこと、外国語講座の講師の皆様、快く取材を受けていただいた市内在住外国人の皆様、イベントに参加いただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。

# 活動紹介

企画部会 部会長 三宅 一弘

会報誌『SIA』には一年間の協会活動がギュッと詰まって紹介されています。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大を受けて思うように活動ができず、計画のみに終わった事業もたくさんあります。ここでは例年行っている、洲本市国際交流協会の活動をご紹介します。

## 総 会

- 通常総会（5月）  
一前年度の事業・会計報告と新年度の事業・予算を決定します。
- 臨時総会（12月）  
一2年に1回会長の任期満了に伴い次期会長・監事を決定します。

## 役員会

- （適宜開催）
- 一各部会企画の事業内容を協議、決定、報告等を行います。

## 企画部会

- 会報誌『SIA』の発行（年1回）
- 協会ホームページの更新（随時）
- 視察研修旅行（2年に1回）  
一平成30年度にはベトナムの日本への実習生送り出し企業・日本語学校・JETROなどを訪問し、視察、意見交換、交流パーティーを行って国際理解を深めました。



H30「ベトナムハノイ視察研修」  
日本語学校視察

## 会員交流部会

- 会員交流会（年3回）  
一食事と企画を楽しみながら、会員同士の交流を深めます。内容は国際交流にちなんだ生演奏やクイズ大会、マジックショーなど、会員交流部会の腕に掛かっています。



R1会員交流会「味(あじ)リンピック」  
国産食品推測ゲーム

## 研修部会

- 外国語講座  
（9月～12月 全10回 英語・中国語クラス）  
一期間中にはハロウィンやクリスマス時期も含まれるので、楽しい企画も考えながら講座が進みます。コロナ禍においては、オンライン講座も実施しました。
- 外国文化理解事業、基礎知識講座（年1～2回）  
一施設訪問や料理、ゲームなどの体験を通じて外国の文化を学ぼうとの主旨の下、毎年楽しい企画を考えています。近年は広く市民の方（特に子ども）向けにも企画しています。
- 動画発信事業（随時）  
一洲本市在住外国人に協力してもらい、国際交流、異文化理解の視点でYouTube動画を発信しています。コロナ禍における新しい試みです。



H27基礎知識講座  
「世界を聞いて！見て！食べよう！」  
JICA関西訪問



H30基礎知識講座  
「英語でフィッシング！」  
海釣り体験



H28外国文化理解事業  
「Happy Thanksgiving Day～外国の祝祭日を食文化から学ぼう～」  
料理体験

## 海外交流部会

- 姉妹都市ホームステイ派遣（7月～8月）  
一高校生の夏休み期間中に米国の姉妹都市（ヴァンワート市・ハワイ郡）へのホームステイ派遣を1週間程度行っています。毎年、洲本市在住高校生10名程度が派遣され、現地の学生と交流しています。
- 姉妹都市ホームステイ受入（7月～10月）  
一米国の姉妹都市（ヴァンワート市・ハワイ郡）からの学生を含む親善訪問団の受入を5日間程度行っています。学生の滞在には洲本在住高校生がいるホストファミリーを募集します。



R1ハワイ郡にて



R1あわじ花さじぎにて

外国人との交流やイベント企画に興味のある方はぜひ一緒に活動しましょう！

## アメリカ合衆国オハイオ州ヴァンワート市 \* \* \* \* \*

ヴァンワート市はアメリカ合衆国北東部に位置し、住民の95%以上が白人という、アメリカでも珍しい人種構成のまちです。基幹産業は農業で、近年、北西部では企業進出が目覚ましく、農業、工業とも活発な都市です。



旧五色町とヴァンワート市との交流は、平成5年に親善のために町議会議員を含む友好都市調査団がヴァンワート市を訪問したことから始まりました。



現在は文化、教育などの分野において、相互交流の促進に努め、国際関係のより良い理解を促進するため、市民レベルでの相互交流を活発に行うことを目指し、青少年のホームステイ体験を中心に交流を続けています。

## アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ郡 \* \* \* \* \*

ハワイ郡の郡域はハワイ島と一致しており、ハワイ諸島最大の島であることからBig Islandと呼ばれています。今なお活動中のキラウエア火山をはじめ、手付かずのダイナミックな自然が魅力の島で、カメハメハ大王の出身地でもあり、王家ゆかりの史跡も多くある都市です。

旧洲本市とハワイ郡との交流は、平成10年に旧洲本市国際交流協会が親善のために訪問したことから始まりました。

青少年の相互派遣によるホームステイ体験を中心とした交流を続けていますが、近年では学生交流とは別に、ハワイ島日系商工会の訪問団が来市するなど、ヒロをはじめとするハワイ郡全体と、文化や農業、観光など広い交流を目指しています。

洲本市から当協会にハワイ郡企画の『姉妹都市バーチャルコンサート』（姉妹都市からパフォーマンスやメッセージを集めて1つの動画にしたもの）へのフラ映像の提供について依頼がありました。そこで6月27日(日)に13名の会員と家族にご参加いただき、多田久美子先生率いるピリーレイプア・クミコ フラスクールの9名の皆さんと撮影しました。

撮影当日は洲本市総合福祉会館でフラスクールの皆さんのご指導の下練習を行ってから、三熊山で洲本城を背景に撮影を行いました。練習の成果もあって素晴らしい映像が取れたかと思っています。ご参加いただいた皆様方にはお忙しい中ご協力いただいたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

7月27日(火)には世界3カ国8都市のハワイ郡の姉妹都市がオンライン上に集まり、このコンサートの上映会が行われ、当協会役員も参加し、ハワイ郡の姉妹都市の方々との交流をさせていただきました。

早くコロナが収束してこれまでのような交流ができることを願っています。

海外交流部会 部会長 高津 知也



## ロシア連邦サンクトペテルブルク市クロンシュタット区 \* \* \* \* \*

クロンシュタット区はロシア北西部のフィンランド湾に面するコトリン島と一致しており、古代においては広大な交易水路に沿って位置する交流地の一つでした。1704年にクロンシュタットの砦が建立されたのがクロンシュタットの歴史の始まりだとされ、現在はサンクトペテルブルグ市の行政区に属しています。クロンシュタットとは“王冠の市”を意味しています。

旧五色町とクロンシュタット区との交流は200年以上前の江戸時代に起こったゴロヴニン事件にまで遡ります。クロンシュタット区はその事件の関係者であるゴロヴニン氏とリコルド氏が青年期を過ごしたまちであり、二人を乗せたディアナ号が、その運命的な日本への航海に出発した港です。



現在は両地域の訪問団が互いに訪問するなど、文化交流などを通して両市民の相互理解を進め、友好的な関係と交流の確立を目指した交流を続けています。

### ゴロヴニン事件

現五色町都志出身の高田屋嘉兵衛が箱館（函館）を拠点に商人として、また開拓者として活躍していた頃、鎖国を理由に通商を断られたロシア使節レザノフが、武力行使で日本側に通商を認めさせようと、本国の許可も得ず、エトロフ島の日本人集落を襲う事件を起こしました。日本側が厳戒態勢を取る中、クロンシュタット区を出港した艦長ゴロヴニンと副艦長リコルドを乗せたディアナ号がクナシリ島を調査していたところ、ゴロヴニン艦長らが捕らえられました。そこでリコルドは彼の消息を聞き出そうと偶然通りかかった嘉兵衛を捕え、カムチャツカへ連行抑留しました。嘉兵衛とリコルドは寝起きを共にしながら、信頼関係を築き、彼らの尽力によりゴロヴニンは釈放にいたり、両国は和解を成し遂げました。

## 新規会員募集中!

随時募集していますので、ぜひ、ご家族、ご友人もお誘いください。協会の事業内容や、活動報告、入会申込書は、ホームページで案内しています。

## ホームページ随時更新中!

<https://www.awaji-is.or.jp/sia-op/>



お申込み・お問い合わせ 洲本市国際交流協会事務局（洲本市企画情報部企画課内）☎0799-26-0175

## 2021.4~2022.3 The annual report

APRIL 4月22日 役員会

MAY 5月28日 役員会 通常総会

JUNE 6月8日 役員会

27日 ハワイ郡姉妹都市バーチャルコンサート用フラ撮影

AUGUST 8月10日 役員会

SEPTEMBER 9月9日 オンライン外国語講座開講式

14日 役員会

OCTOBER 10月12日 役員会

NOVEMBER 11月9日 役員会

14日 外国文化理解事業

DECEMBER 12月1日 SUMOTOで体験!世界の食文化 イタリア編

You Tube配信開始

2日 オンライン外国語講座閉講式

7日 役員会

JANUARY 1月1日 SUMOTOで体験!世界の食文化 中国編

YouTube配信開始

FEBRUARY 2月8日 役員会

25日 SIA発行

MARCH 3月8日 役員会

21日(予定) SUMOTOで体験!世界の食文化 ロシア編

YouTube配信開始



## 編集後記 企画部会 部会長 三宅 一弘

昨年度から続く新型コロナウイルスの影響を受け、2年連続中止を余儀なくされた事業がある一方、記事の通り新しい形での事業展開も少しずつ進み、皆様のご協力によって会報誌が発行できたことに感謝申し上げます。コロナ禍ではありますが、当協会では工夫しながら活動を再開しています。『SIA』に掲載しきれない内容は、ホームページでも紹介し、両輪での情報発信に努めています。

当協会に興味を持っていただけた方は、お気軽にご参加いただければ幸いです。

